

《チャイルドラインデータ資料》

2024年度・第2四半期

【集計データから、子どもたちの状況を読み解く】

特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

▶ 今期のテーマ「虐待」◀

▶ 2024年7月～9月のアクセス内容と分析 ◀

《第2四半期のテーマ「虐待」》

今回は「虐待」について調べました。

チャイルドラインデータベースにおける「虐待」は、具体的には「心理的・身体的・性的・ネグレクト・教育虐待」などの内容を含んでいます。

以前から、虐待に対する社会的関心も高く、また痛ましい虐待のニュースも継続して報道されているだけでなく、児童相談所の虐待通告件数においても増加がおさまっていません。議論が起こったり関心の高さが継続していたりしている状態でもあるので、チャイルドラインのデータからも、何が見えるのかを探りたいと思います。

ここでのデータは、2023年秋にも集計を行いました。あらためて最新のデータを加え、過去8年間を集計し、傾向をみてみました。

◆ 「虐待」の年度別件数と割合

2016年度から2023年度までの

「虐待」の件数を集計しました。

電話は1,289～1,743件でばらつきは少なく、チャットは101件～428件で最近になるにつれ増加傾向です。ただ、近年電話が減少傾向、チャットは逆に増加傾向であるこ

とを考慮に入れる必要があります。

割合を見てみます。電話・チャット同じく、多少の増減はあるものの、似たような推移です。

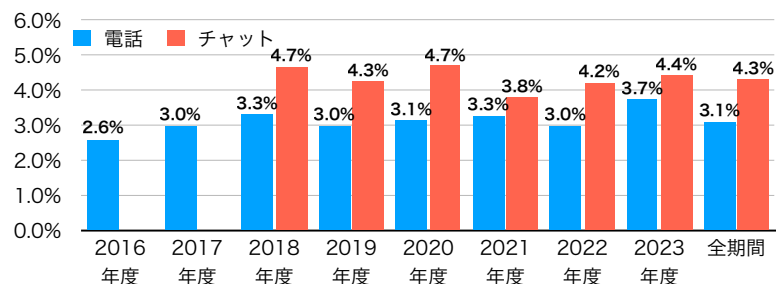
ただ、大きな特徴として「電話」よりも「チャット」の方が、虐待と思われる内容が多い傾向にあるようです。

年度別「虐待」の着信件数（年度・電話とチャット）

種類	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	期間合計
電話	1,534	1,648	1,743	1,493	1,315	1,362	1,289	1,440	11,824
チャット	-	-	101	126	213	206	328	428	1,402

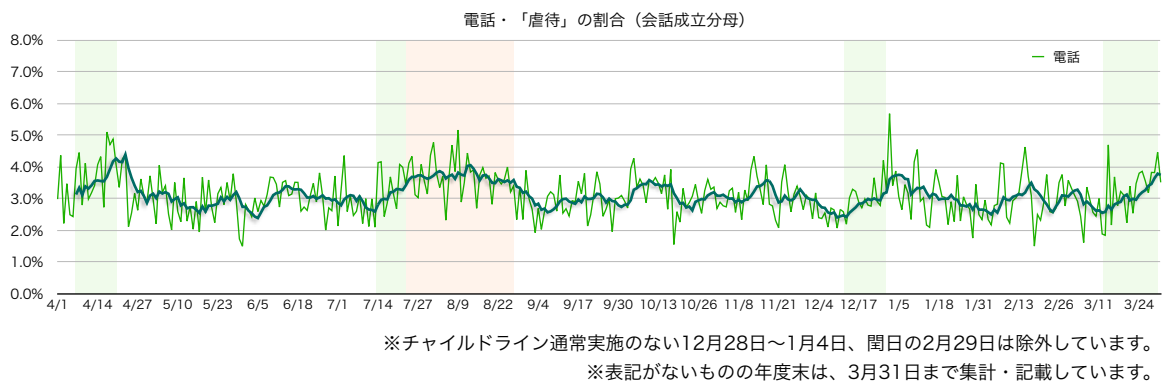
※電話は、2023年度から「ネット電話」の件数も含まれる
※チャットは、常設化した2018年度から集計

年度別「虐待」の割合（会話成立分母・電話とチャット）



◆虐待の365日別割合 ★ここからは、件数の多い「電話」のデータのみのご紹介です。

「虐待」を1年365日別で集計し、1日ごとの割合を見てみました。



まずグラフの解説です。薄い緑色は会話成立を分母とした「日別割合」を示しています。件数が一番少ない日で「18件」（4月30日）、一番多い日で「58件」（8月31日）でした。割合として一番低い日は「1.5%」（5月31日）、一番高い日で「5.7%」（12月27日）でした。

ただし日や曜日によって件数の変化が大きく、ばらつきがあります。そこで変動をやや緩やかにしたのが、太い線で示した「前7日間の移動平均」（集計日から前の7日間の合計を7で割った数字で、1日ずつずらして集計）です。ここでは、集計範囲を広げることでより傾向が見やすくなります。それらを基に、以下に3つの注目点を挙げます。

1つ目に注目したいのが、「虐待の電話は1年中、寄せられている」という点です。希死念慮や不登校などについては、長期休み明け前後などに、折線の波が高くなる傾向にありましたが、虐待は、高い波の時期があるというよりは、一年中2～4%の割合で推移している、ということをもまず前提理解としたいと思います。

その一方で、2つ目に注目したいのが「わずかに高まる時期がある」部分です（薄ピンクの帯が目印）。特に、7月中旬から8月中旬までにかけては（7日間平均）、他の時期よりも継続的に割合が高くなっていることが特徴です。これはほぼ、学校の夏休み時期と同じ期間と考える方が良いでしょう（最近、学校は8月20日過ぎから2学期が開始されるところも多くあります）。

ただし、直接虐待を受けている時期がこの時期だ、と断定することはできません。あくまでも「家族に関してイヤな思いをしている▶これは虐待なのかな▶もやもやすから第三者にこの状態を聞いてもらいたい▶だからチャイルドラインへアクセスした」というような、子ども自身の自発的な気持ちや行動がこの時期に現れていると考える方が、適切のように思います。とはいえ、夏休み期間は、子どもは自宅にすることが多いですし、家族との接触時間も自然と長くなります。その際、虐待を受ける頻度が増す可能性も否定はできません。その辺りのリスクについて考えるための興味深いデータといえます。

3つ目に注目したいのが、「7日間平均が上昇する時期」についてです。ある一定期間、上昇を示し、やや山が高くなる時期の傾向があるのではないか、という見立てです。（薄緑の帯が目印）

それは、①4月の新学期直後、②7月の夏休み前、③12月の年末年始、④3月の春休み直前で、何週間か継続して上昇する時期があります。この①～④の時期は、新学期直後、年末年始、学期末と、「学校の節目」と関連があるかもしれません。これらのデータは、それぞれの分母が「2桁件数」ととどまることから明確に見えているものではありませんが、なんらかの意味があるかもしれない仮説として、注視したいところです。

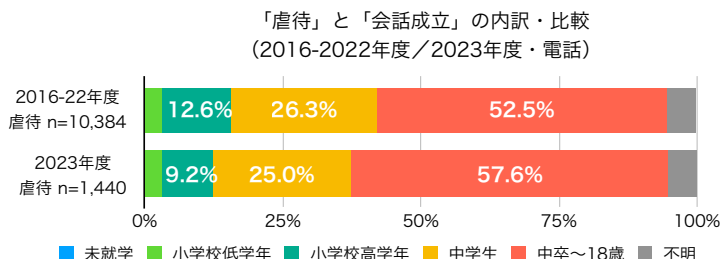
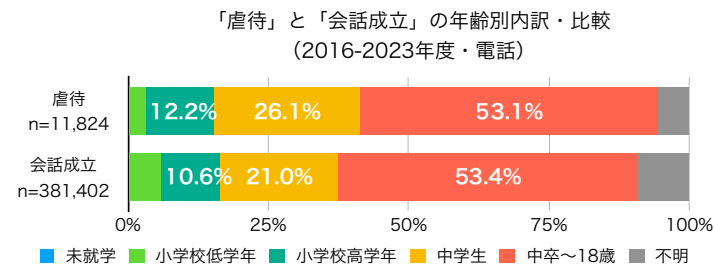
上記から見えることは、虐待は「家庭環境」そのものの課題だけではなく「学校の登校期間（休み等）」も、何らかの関係があるかもしれないといった、別の視点も与えてくれます。子どもたちの虐待のサインを見逃さないためにも、これらの結果にも注目しておきたいところです。

◆ 虐待の年齢割合

年齢の割合を見ました。上のグラフでは、虐待割合は中卒～18歳が53.1%と多く、次に中学生26.1%、小学校高学年12.2%となっています。「会話成立」との比較では、「中学生」の割合がやや高いことがわかります。

また直近1年と、それ以前の比較も見てみました。2016-2022年度と2023年度と比べ、小学高学年が減少し中卒～18歳が増加しています。

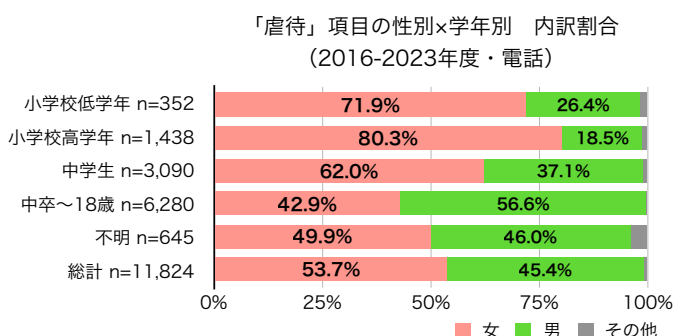
それぞれの比較では、多少増減があるものの、大幅な変化とまではいえません。



◆ 虐待の性別×年齢

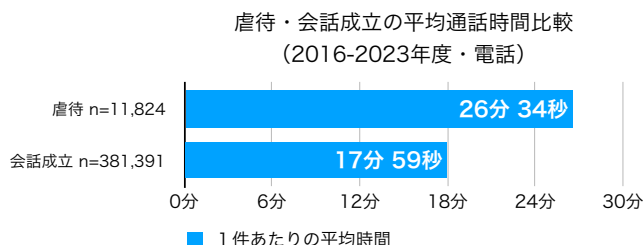
性別と年齢の相関を見てみると、全体的には、おおよそ女子が54%、男子が45%程度で、女子が多い傾向にあることがわかります。

年齢ごとに見ると、小学校・中学校は女子が多くを占めていますが、中卒～18歳になると男子の割合がやや増加しています。（未就学は分母が少ないので省略）



◆ 虐待の平均通話時間（比較）

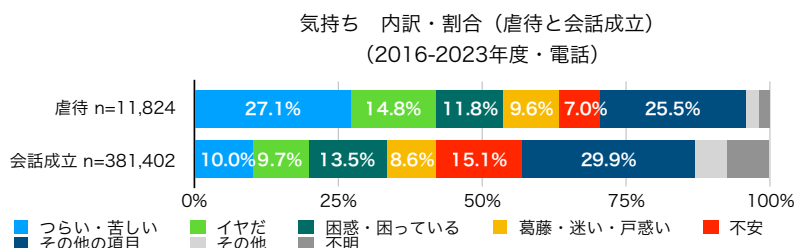
通話時間は「会話成立」全体に比べて「虐待」は26分34秒と長くなっていました。2023年度にまとめた集計データとほぼ変わらない傾向です。明確な理由はわかりませんが、虐待かもしれないと悩んだり、もやもやした感情を抱えている状態でアクセスしていることが関係し、気持ちの整理に時間を要している可能性があると考えられます。



◆ 「気持ち」に関する傾向

「気持ち」項目を集計しました。

比較的、それぞれの項目が分散していますが、虐待は「つらい・苦しい」が一番多く、次いで「イヤだ」「困惑・困っている」「葛藤・迷い・戸惑い」「不安」と続いています。会話成立全体と比較すると全体的に割合に違いがあります。



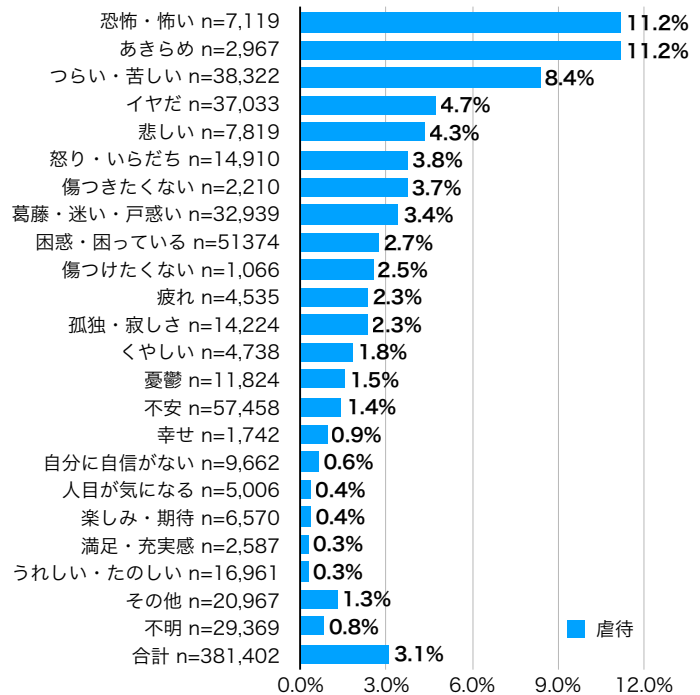
次に、別な角度から見た「会話成立の『気持ち』の各項目の数を分母とした虐待割合」です。

会話成立全体からみた「虐待」の割合は「3.1%」（グラフ項目では、最後の行に「合計」と表記）となっていますので、これを基準として「気持ちの各項目」を比較すると、「恐怖・怖い」11.2%、「あきらめ」11.2%とトップで、「つらい・くるしい」8.4%、「イヤだ」4.7%、「悲しい」4.3%と続いています。

上記横棒の内訳グラフとは別に、「恐怖・怖い」と「あきらめ」が現われてきていて、子どもたちに強いストレスと、絶望感にも似た感情を抱えている可能性があることに注目したいと思います。

グラフを掲載できなかった情報を補足すると、「恐怖・怖い」は身体的・心理的虐待に多いのに比べ、「あきらめ」は、身体的・心理的に加えて、ネグレクトでもやや多くなる傾向も出ていました。いずれにせよ、子どもが置かれている環境としては深刻さを表すものになっていると思います。

会話成立の「気持ち」の各項目を分母とした虐待割合
(2016-2023年度)

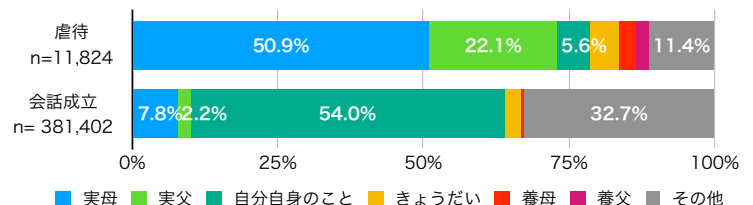


◆関係性

「関係性」項目を集計しました。「実母」が半数の割合を占めています。続いて「実父」「自分自身のこと」「きょうだい」と続きます。

会話成立と比較すると、かなり違いが見られます。虐待という性質上、家族、特に両親との関係における虐待が多いことがわかります。これは前回の集計と同じ傾向です。

関係性 内訳・割合（虐待と会話成立）
(2016-2023年度・電話)



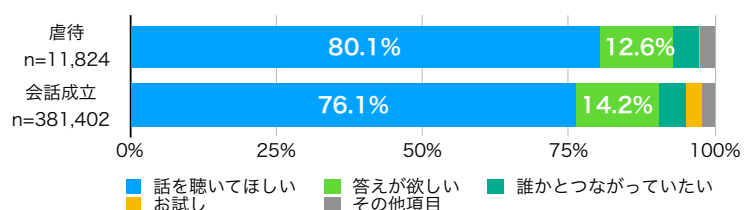
◆つながった動機

つながった動機について集計しました。「話を聴いてほしい」が8割を占め、会話成立よりも少し高くなりました。

虐待、という一般的には、切迫度・緊急度の高い状態であるにもかかわらず、子どもから発せられる「つながった動機」は、

「話を聴いてほしい」が多いという、もどかしい結果となっています。虐待ではないかと思われるケースのアクセスに対して、どのような対応を取っていくか、これまでも議論が行われていたましたが、継続した課題ではないでしょうか。

つながった動機 内訳・割合（虐待と会話成立）
(2016-2023年度・電話)



◆まとめ

- ✓ 件数：電話は、ばらつきは少なく、チャットは近年増加傾向。
- ✓ 365日別：「前7日間の移動平均」では、
 - ① 虐待に関する電話は、1年中、寄せられていて、増減の波が大きい。
 - ② しかし、夏休み期間中に関しては「わずかに継続した高まりがある」。虐待が起こっている時期、と断定はできないが、家庭での接触時間の増加などで虐待を受ける頻度は増える可能性があるほか、子どものモヤモヤした感情が反映されたかもしれないなど、いくつか仮説がある。
 - ③ 新学期直後や長期休み前や最中に「何週間か継続して上昇し続ける時期がある。上昇幅は大きいので参考値だが、何らかの意味がないか、注視したい結果である。
- ✓ 年齢：「中卒～18歳」が半数を占めた。「会話成立」との比較では、「中学生」の割合がやや高くなっていた。直近一年とそれ以前では、2023年度は「中卒～18歳」がやや増えている。
- ✓ 性別：「女性」の割合が小学生から中学生にかけて高くなっている。中卒～18歳に絞ると、男性割合が高くなっている。
- ✓ 平均通話時間：「会話成立」全体よりも「虐待」が8分半、長くなっている。虐待かもしれないと悩んだりもやもやした感情を抱えている状態でのアクセスで、気持ちの整理に時間を要する可能性があるかもしれない。
- ✓ 気持ち：「つらい・苦しい」が2割で多く、次いで「イヤだ」「困惑・困っている」「葛藤・迷い・戸惑い」「不安」が続く。会話成立の全体比較とはかなり違いがあり「つらい・苦しい」の割合が虐待の方が高い。会話成立からみた「虐待」の割合3.1%を基準に、気持ち項目ごとに比較すると「恐怖・怖い」11.2%、「あきらめ」11.2%とトップで、「つらい・くるしい」8.4%、「イヤだ」4.7%、「悲しい」4.3%と続いている。特徴は「恐怖・怖い」と「あきらめ」で、ストレスと絶望感に似た感情を抱えている可能性が示唆される。
- ✓ 関係性：「実母」「実父」の割合が高い。虐待の性質上、家族、特に両親との関係における虐待が多いことがわかる。
- ✓ つながった動機：「話を聴いてほしい」が、会話成立全体と同じく高い。切迫度・緊急度の高い状態にもかかわらず「話を聴いてほしい」という子どもの動機のギャップを、どのように受けとめ対応しているか、課題が残る。

今回のテーマである「虐待」は、以前から継続的な課題であり、チャイルドラインにおいても、深刻な主訴では上位にある、重要なテーマです。今回1年前と比較してデータを見てみると、おおむね似たような傾向にはありますが、2023年の電話・チャットそれぞれの割合が、ここ数年よりは少し高くなっており、今後の状況がどうなっていくかは気になるところです。急増も急減もしていないけれど、一定数の割合で子どもから訴えがある、このことを重く捉え、できることを考えていきたいところです。

また、「365日別」の集計においても、アクセスの増加する時期の特徴がみえているかもしれないという仮説のもとで、今後も集計、注視を続けたいと考えています。

データは今後も変化していく可能性がありますので、継続的な深掘りや分析を検討したいところです。

◆子どもたちの声 ※個人が特定されないようプライバシーに配慮して再構成しています。

- ❖ 親にダメ人間と言われる。何を言っても否定される。やめてと言っても止めてくれない。
- ❖ 虐待で児童相談所に通報され、3ヶ月家を離れた。その間に両親が離婚した。今は母と暮らしている。今はないけど、母にも以前は虐待されていて…
- ❖ お母さんが布団に入ってきた。それ以来、お母さんの身体が気になって仕方がない
- ❖ バイト代を親にとられる。生活費も払っている。なんか疲れちゃた…
- ❖ 家族の留守中におじさんがやってきて、性器を触られた。気持ち良かったらう？またしてほしくなったらやってやると言われた。
- ❖ 両親がいなくて、おばさんと暮らしている。そのおばさんから暴力を受けていて…自分にはどこにも居場所がない。
- ❖ 遊びに行って帰宅したら、お父さんに「帰りが遅い」と殴られた。躰と言われ、日常的に殴られる。お母さんもいつも殴られているけど、何も言わない。私が悪いことをするから殴られるんだと思うけど辛い。死んだほうがいいかなと思ってしまう。
- ❖ 母親から殴られている。病院にいてケガは治ったけど、ぼくは施設に行きたい。今、調査中で児相に行けるかどうか。本当に行けるのかな、ドキドキしている。
- ❖ ADHDでとても失敗してしまい、小さい頃から叩かれたりしていた。お父さんが動いただけでもビクッとなってしまう。今は、少し良くなったけど。お母さんはかばってくれる。
- ❖ 死にたいと言った友達に死ねばいいと言ってしまい、それから毎日、死にたいと思ってしまっ。昔から死にたいと思っていたけど死ぬのが怖かった。最近は、兄に消えろ、とも言われ私は、生きていると迷惑しかかけてない。
- ❖ 不登校の僕が悪いんだけど親が毎日、「将来段ボール生活になるぞ」とか「馬鹿」などと言ってきて怖い。「不登校はゲームをする権利はない」とゲームを隠されたりされる。

《データ資料概要と注意点》

2024年7月～2024年9月のアクセス内容、データベースを集計し分析

チャイルドラインに寄せられた子どもたちの声にどのような傾向があるのか。チャイルドラインにおける“データベース”等を基に、集計しました。

- ・ 期間：《2024年度・第1四半期》2024年7月～2024年9月（速報値）
- ・ データ集計日：2024年12月16日

・ 集計数（分母）：

【トラヒックデータ】（発信件数・今回使用したデータのみ掲載）

	23年 10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
発信件数	31,025	32,568	29,812	31,930	30,126	26,398	28,710	29,269	32,481	34,064	32,553	37,219	376,155

【データベース】（件数・今回使用したデータのみ掲載）

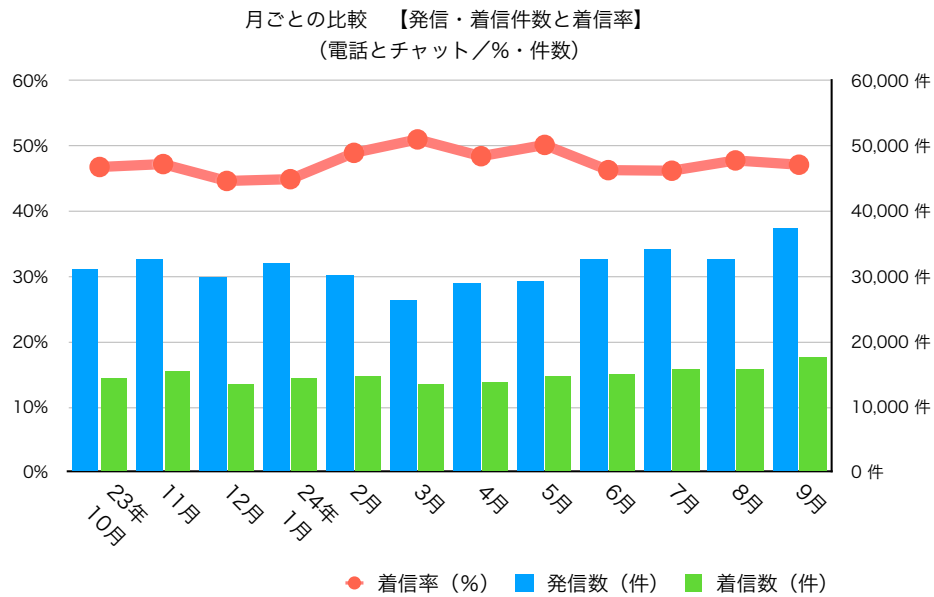
	23年 10月	11月	12月	24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
DB全体	14,013	14,840	12,805	13,684	13,995	13,118	13,421	14,126	14,109	14,856	14,614	16,421	170,002
会話成立	3,976	4,435	3,804	3,604	3,769	3,852	3,974	4,204	4,131	4,355	4,135	4,328	48,567

※（DB全体）は会話成立、会話不成立、無言等を含んだ全体集計数 ※他資料とはデータが異なる場合がある。

- ・ 表記の定義： 「％」＝上記項目の分母（集計した数）の割合
「件」＝データベースに入力されたアクセス・会話件数
「ポイント」＝パーセントポイント（他の％をポイントとして比較）
- ・ データの種類： 【トラヒックデータ】 電話＝NTTコミュニケーションズ、チャット＝AI.BiSから取得
【データベース】 電話・チャット＝「受け手」が感じた内容を子どもが特定できないようプライバシーに配慮し、データベースとして集積
- ・ データの性質： 「速報値」である。そのためデータの誤入力や重複、未入力データがある等、今後、修正が生じる可能性がある
- ・ データの注意点： 各データの小数点をまとめる際に集計上の誤差が生じるため、グラフのデータと他のグラフデータに数字の違いが生じる場合がある
- ・ 報道関係の皆様へ：この資料でのデータは速報値で、今後、集計結果が変わる可能性があります。
データ・資料について取材、引用の際は、チャイルドライン支援センター（連絡先最終ページ）までご一報ください。

《トラヒックデータ／発信数・着信数》

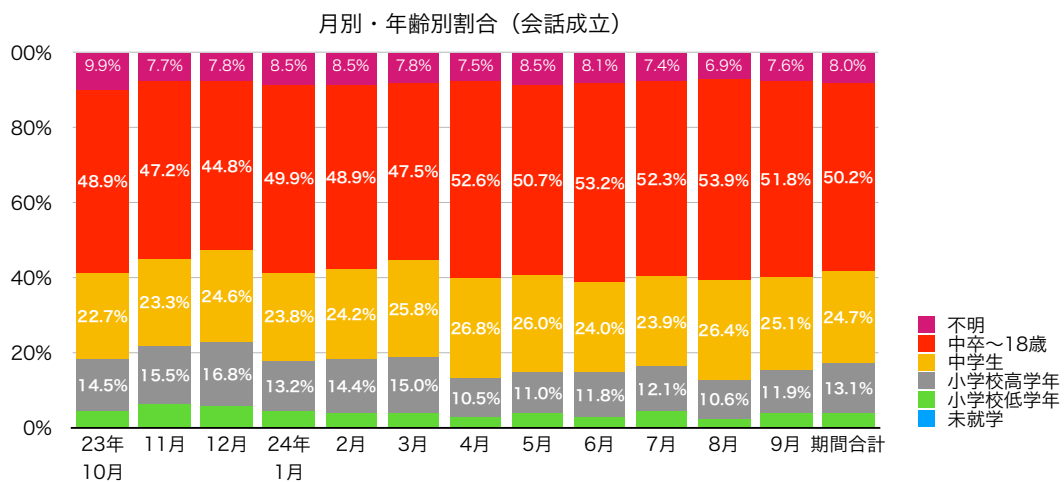
トラヒックデータの発信数・着信数（電話とチャット）の、最近の3ヶ月は、発信数が9月にやや上がった。1年間の推移を見てみると、特に大きな変化はなかった。



《データベース・年齢（会話成立）》

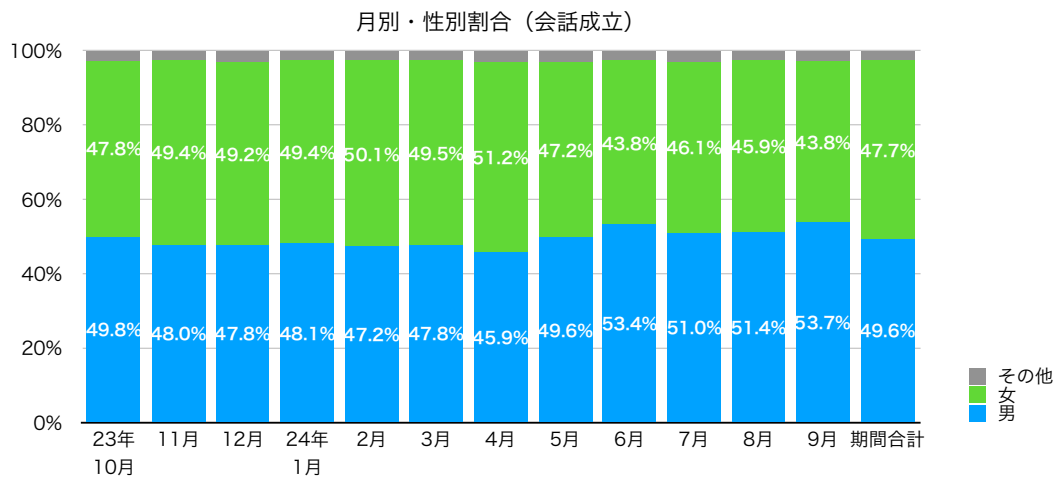
ここからはデータベースの「会話成立」（電話とチャット・以降のデータも同様）に絞ったデータを紹介する。まず「年齢」別の集計から。

年齢について、1年間の月別推移の割合は、この3ヶ月も中卒～18歳が高かった（約5割）。



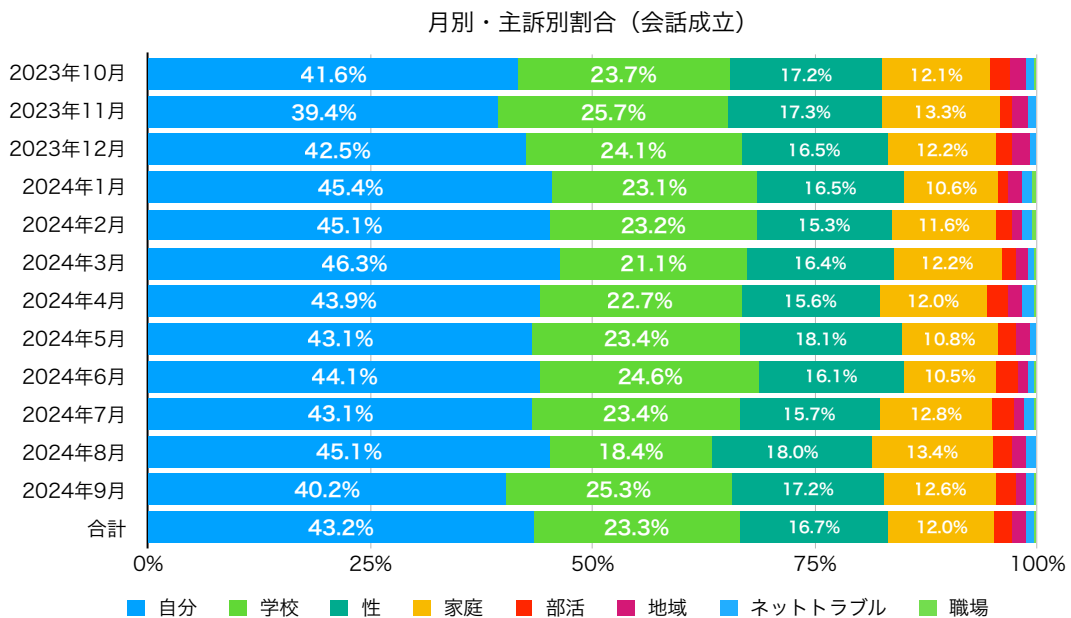
《データベース・性別（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「性別」を1年間の月別推移で集計した。男女ともに割合に大きな変化はないが、6・9月に男性の割合が増加していた。



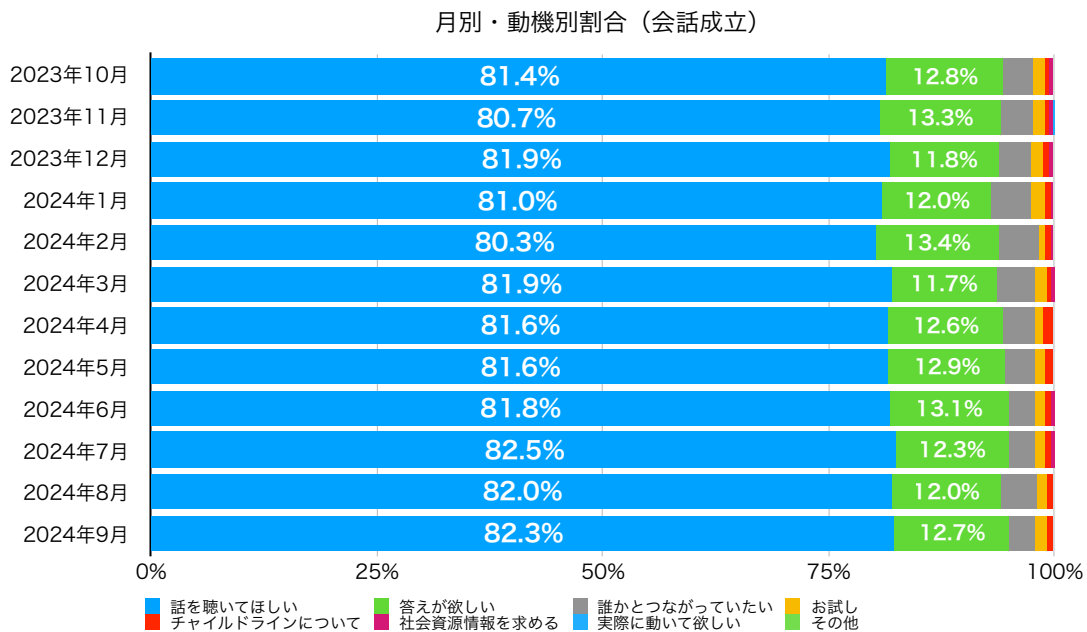
《データベース・主訴【大項目】（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「主訴【大項目】」を1年間の月別推移で集計した。この3ヶ月は、8月に「学校」の割合が減少する違いはあるものの、概ね全体と大きな変化はなかった。



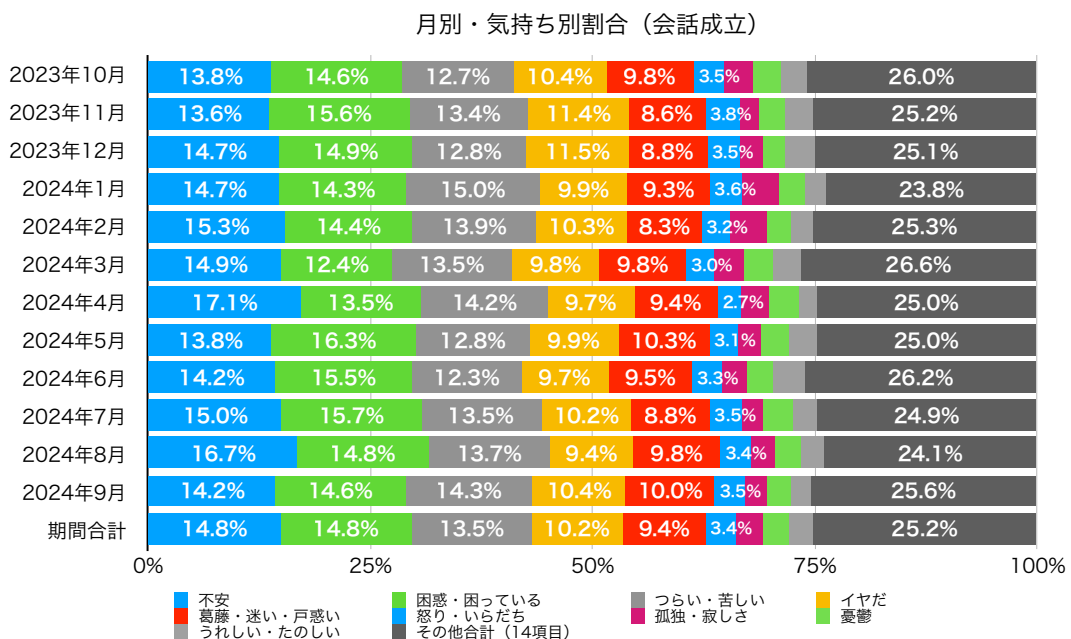
《データベース・動機（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「動機」を1年間の月別推移で集計した。全体として「話を聴いてほしい」が大きく割合を占めている。



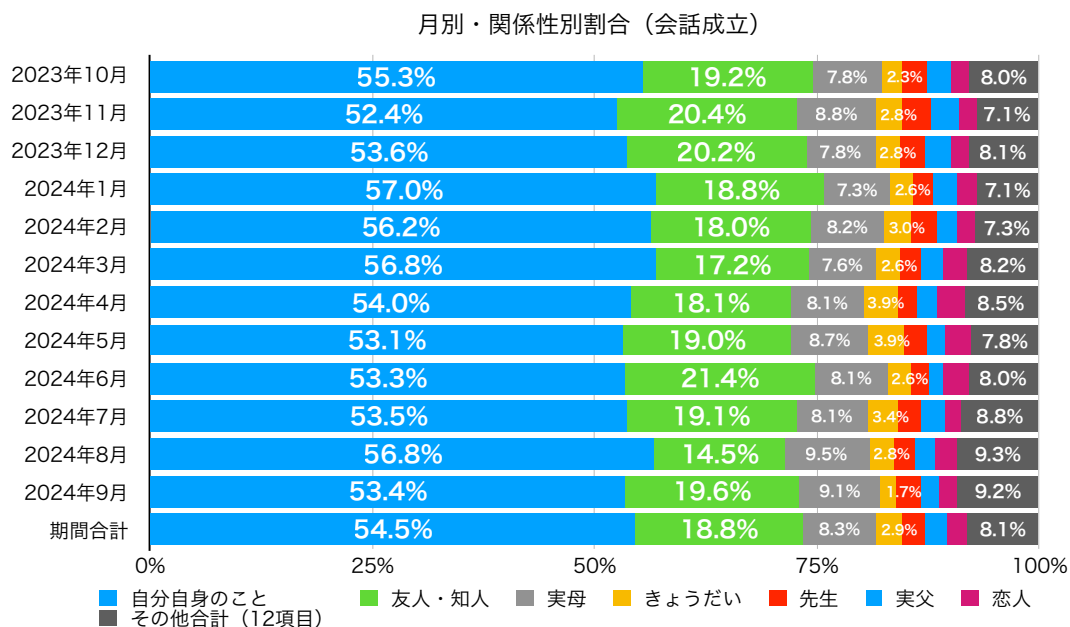
《データベース・気持ち（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「気持ち」を1年間の月別推移で集計した。最近の3ヶ月に多少の変化が見られるが、大きな変化はなかった。



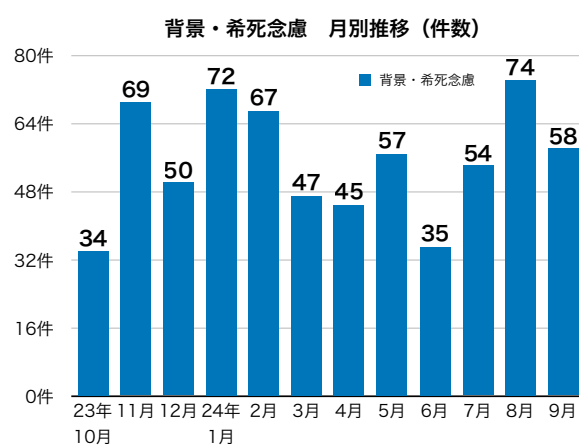
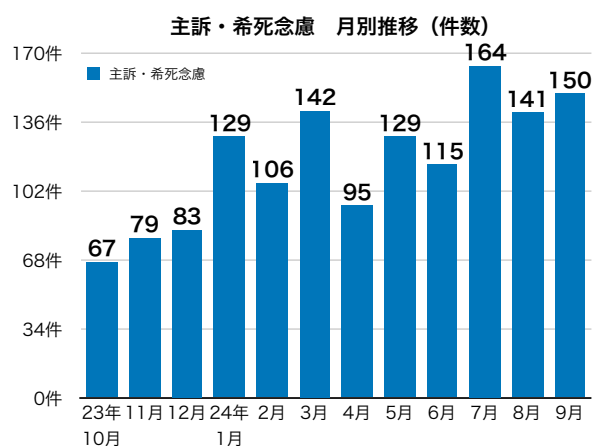
《データベース・関係性（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「関係性」を1年間の月別推移で集計した。全体として「自分自身のこと」の割合が多い。月別では、8月に「実母」が若干増え「友人・知人」が減るものの、大きな変化はなかった。



《データベース・「希死念慮」（会話成立）》

データベースの「会話成立」のうち、「主訴・希死念慮」と「背景・希死念慮」の件数をそれぞれ1年間の月別推移で集計した。集計数が少ないので参考値ではあるが、主訴・希死念慮は1年間の推移ではやや件数が増加しているように思われる（割合も増加傾向）。



<希死念慮などに関する事例>

- ▶ ケガをして、オムツの状態。誰か僕を殺してほしい。
- ▶ 受験生なのにサボっている。死にたいなあってなんで思うんだろ。恵まれているのに…
- ▶ 受験生だけど勉強がなかなか進まない。また、希望の進学先に合格したとしてもその後で勉強においていけるかと考えてしまい不安になる。最近はそういうことばかり考えてしまって眠れなくなっている。死にたい。
- ▶ 母が彼氏を家に連れてきてセックスをする時に外に出でいないといけない。自分がいても行為の音が聞こえてたり、話の内容が聞こえて耐えられない、フラッシュバックする。最近自殺未遂をしてしまった。
- ▶ 「死にたい」という気持ちを持ってしまう。逃げたい（家族からの虐待と思われることから）。

《「つぶやく」に寄せられた声の傾向》

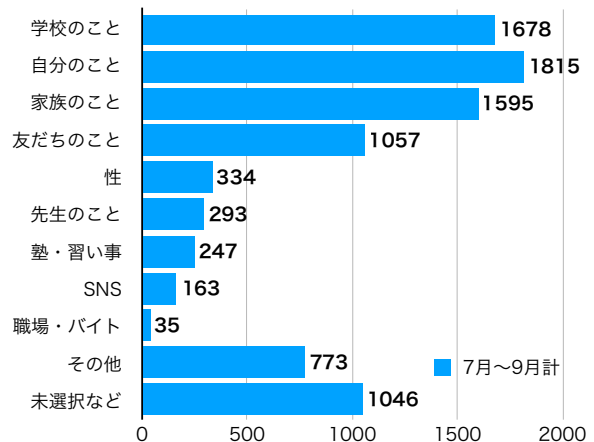
こちらは、ウェブページ上の「つぶやく」に寄せられた声を集計した（属性などは自己申告・記入）。

件数は、3月～5月にやや減少しているようだが、6月は再び増加していて8月にピークとなった。つぶやいた内容のジャンルは、順に「自分のこと」「学校のこと」「家族のこと」「友だちのこと」「未選択など」となっている。

【つぶやく】書き込み件数・年月推移
(2023年10月から2024年9月)



【つぶやく】テーマ別・複数選択 件数
(2024年7月から9月)



＜つぶやかれた内容＞（投稿者が「公開してもよい」を選択したもの。個人がわからない形で一部編集の上掲載）

- ❖ 結局この世って環境ガチャだよな、親とかクラスメイトとか、先生とか、そういうので自分のメンタルが変わってくるから。自分には良くも悪くも絶対的な悪っぽい人がいないから、いらだちの矛先が誰にも向けられなくて、自分に向かうことになる。それはそうと、みんなも自分のいる最悪な環境から抜け出せるといいね。
- ❖ 学校でいつも苦手な子と一緒にいて苦しい。だから、最近は、苦手な子とは、離れて昼休み一人ぼっち。相手は、私のことを親友とっていて、トイレまでも、一緒にいかないといけない。ひとりぼっちでいいよね？怖いけど、あわない子といると、あたま、おかしくなる…
- ❖ みんなは知ってる？いじめの本。私は今4年生で今日朝会があったんだ！ そしたら校長先生が前に出て、こんな本を読んでくれたんだよ
「いじている君へ」って本あくまでもいじている人向けの本だけど、いじめられてる私が聞いたなら、「その通りだよ」って思ったから、皆もちょっと見てほしい本当におすめの本だよ！逆にお願いだよ。見て！
- ❖ 【学校】マジでなんで無理やり学校行かなきゃダメなの
【自分のこと】マジで死にたい、っていうかなんで私がいじめられなきゃいけないの？
【家族のこと】なんで私のこと後回しなの？話ぐらい聞いてほしい
【先生の事】マジでうざい
- ❖ 自分が何をしたいのかが分からない、とある日まで学校に行って友達と喋って、でもある日突然、何もかもが嫌になって学校も行きたくなくなったどうしてそうなったかも分からない、なんかの病気なのかも分からない、今何してるか分からないずっと無意味な時間を過ごしている、こんな自分が嫌だ
- ❖ すぐ人のこと嫌いになったり、人に嫉妬したりする自分は嫌いだけど、なんだろう、しにたくはない。
去年自殺を考えていたけど、学校のスクールカウンセラーの方に話し聞いてもらったら、一気に解決した。
なんでだろう。 今まで本当に病んでた。死にたかった。欲を満たすためにたくさん金つかった。それがすべて消えた。みんなも誰かにたくさん相談してね！。

- ❖ クラスの友達とのことです。最近友達が私が話しても無視してきたり、今までは話に入れてくれたのに入れてくれなくなりました。あとその子とLINEが繋がってますが、1ヶ月まえのLINEも既読にならないので多分ブロックされてます。私はその子と仲良くしたいですが、方法がわかりません。もしよかったら解決方法を教えてください
- ❖ 中3のクラスが一番楽しい。友達ができて嬉しかった。でも、私が一番の友達じゃない。友達には友達がいるわけで、話題についていけない。2人で話したいのに、いつの間にか3人になって、私を仲間外れにするかのように知らない話が進んでいく。私のこと考えてんの？気遣いできない人だねほんとに。
- ❖ 吹奏楽コンクールまで残り2日。今まで部長やってきた。嫌なこと、数え切れないくらいあった。だけど。やって来て良かったなと思う。先生に、後輩に、そして同学年の仲間に恵まれた。この部活の、この部員の部長であれたこと。とても嬉しく思う。金賞をとりたい。金賞をとって終わりたい。絶対に絶対に。金賞をとる。
- ❖ 毎日毎日辛い。夏休みに入って意地悪してくる友達と会わなくて済むから、少しは楽になると思ってた。でも毎日毎日しつこくメールしてくるしもう嫌だ怖い家ではおばあちゃんの介護..お母さんから嫌なこといっぱい言われる。もう死んでもいいかな？

【この資料に関する問い合わせ】

制作・著作：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

〒162-0808 東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5F

メール：info@childline.or.jp 電話：03-5946-8500

ウェブサイト：<https://childline.or.jp/>